# 幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

## 2022年10月度　定例会

日　時　　10月17日（月）　13：30～
会　場　　ウェルス幸手（第1会議室）
司　会　　s

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）AED初級講習（第1会議室）・・・幸手消防署4名

2. 今後の予定
   1） 11／28（月）9:30 定例会
   2） 12／19（月）9:30 定例会
   3） 11／28（月）12／12（月）12／19（月）養成講座（t先生）10:00~12:00

3. お知らせ
   1） 健康福祉祭り 11/5~11/10　パネル展示のみ・・・ピースも参加
   2） 赤い羽根共同募金
   3） 社協のM様より、さって広報12月号にピースの紹介記事を載せるとのこと
      ・・・記事の内容は、電話傾聴について

◎9月度議事録
   1） 9月度定例会参加者　13名
   2） Sさんのやさしいワークで有意義な時間を過ごすことができた。

※今月のことば　「自分にとって傾聴ボランティアとは」より
   〇長野県原村　はら村傾聴ボランティアグループ「のぞみ」代表者
   震災後の傾聴が特に印象深かった。
   東日本大震災の被災者の方との交流会に、傾聴活動として継続して参加しました。震災直後、南三陸町にボランティアに入りましたが、すさまじい光景に心が砕け、何もできませんでした。その後、原村の事業として、「南三陸町で被災された方を村に招待して慰労する会」が数年行われました。「傾聴のぞみ」はその会で、お話しをうかがうことを続けました。
   「南三陸町と原村おしゃべりカフェ」とネーミングしました。「傾聴のぞみ」のメンバーだけではなく、村の方々が多く参加してくださいました。協会から示された「被災者への傾聴」で心構えを作って臨んだのですが、最初の年は、みんなで泣きました。目の前で津波にさらわれていった愛する人たち、避難所の周りを亡くなった人たちが歩くというううわさを聞いて、会いに行ったこと、透析中にベッドごと飛ばされ、そのベッドを押さえてくれた命の恩人の医師が家族を津波で失い、自殺してしまったこと・・・私たちは、被災した方々の心に添えたのだろうかと、今も思います。